

2023年室内環境学会学術大会 大会長奨励賞
優秀ポスター賞(学生会員) 受賞の言葉

P-09# 皮膚ガスを指標とする「みどり」の
ストレス軽減効果の検証

河内丈¹⁾, 鶴見賢治²⁾, 藤田威夫³⁾, 村松真歩¹⁾, 関根嘉香¹⁾

1)東海大学, 2)川崎市環境局環境総合研究所, 3)川崎市建設緑政局

このたび、2023年室内環境学会学術大会で発表いたしました“皮膚ガスを指標とする「みどり」のストレス軽減効果の検証”にて大会長奨励賞を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。

私たちは社会のさまざまな要因から発生するストレスを抱えて生活している場合が多く、近年ではストレスを軽減・緩和させる方策に注目が集まっています。一方、公園や緑地、街路樹といった「みどり」が私たちの生活を豊かにしてくれることは感覚的には理解できますが、「みどり」の効用を定量的に説明するのは簡単なことではありません。このような背景のもと、本研究ではヒト体表面から放散する揮発性の微量生体ガス（皮膚ガス）をバイオマーカーに、神奈川県川崎市に所在する生田緑地の利用によるストレス軽減効果を定量的に評価することを試みました。その結果、疲労臭と呼ばれストレスマーカーとして知られるアンモニアや、アリアルメルカプタン、ジアリルジスルフィドといった硫黄系化合物の皮膚放散量が有意に低減することを明らかにし、公園緑地の利用がストレス軽減に寄与すること、また体臭改善にも繋がる可能性を見出しました。今後は暑熱ストレスに対する街路樹緑陰の効果を検証するとともに、皮膚ガスの知識を深め生体内での発生メカニズム等について検討していきたいと考えております。

最後になりましたが、本研究の遂行に多くの助言を頂きました方々に心から感謝申し上げます。

……著者データとプロフィール……



河内 丈
(こうちじょう)
東海大学
理学部化学科
学部4年生



鶴見賢治
(つるみけんじ)
川崎市環境局
環境総合研究所



藤田威夫
(ふじたたけお)
川崎市建設緑政局
緑政部 みどり・多
摩川協働推進課



村松真歩
(むらまつまほ)
東海大学大学院
理学研究科化学専攻
修士課程2年生



関根嘉香
(せきねよしあ)
東海大学
理学部化学科
教授
博士(理学)